

一関工業高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)		授業科目	美術
科目基礎情報						
科目番号	0065		科目区分		一般 / 必修	
授業形態	実技		単位の種別と単位数		履修単位: 2	
開設学科	未来創造工学科（一般科目）		対象学年		2	
開設期	通年		週時間数		2	
教科書/教材	美術 1（光村図書）					
担当教員	及川 武芳					
到達目標						
創造的な作品制作を通して豊かな感性を育て、創造する喜びを味わうとともに、ものづくりのための追求心を養う。また、自己の意図、心情を表現するため、表現方法の基礎能力を養う。鑑賞を通し作品の良さ、美しさを感じ、それぞれの個性を発見する。 【教育目標】B						
ルーブリック						
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安
評価項目1 創造性		豊かな創造性がある。		ある程度の創造性がある。		創造性がみられない。
評価項目2 感受性		豊かな感受性を感じられる。		ある程度の感受性を感じられる。		感受性がない。
評価項目3						
学科の到達目標項目との関係						
教育方法等						
概要	創造的な作品制作を通して豊かな感性を育て、創造する喜びを味わうとともに、ものづくりのための忍耐を養う。また、自己の意図、心情を表現するため、表現方法の基礎能力を養う。鑑賞を通し作品の良さ、美しさを感じ、それぞれの個性を発見する。					
授業の進め方・方法	美術の幅広い創造活動を通じ基礎的な造形力を養う。作品制作を主とし、基本的内容を踏まえ、より良い作品するために繰り返し工夫する。毎時間の積み重ね、取り組みを大切にする。授業内での完成を目指し、未完成の作品は受け付けない。鑑賞の際は指定されたレポートを提出すること。					
注意点	授業の内容は課題毎ごとに授業内で告知する。道具の取り扱い方を理解し、準備、後片付け等、丁寧に行われていたか。 【事前学習】授業開始前に取り扱う画材や道具を準備しておく。 【評価方法・評価基準】課題 1 0 0 %（出席、授業態度含む）で評価する。詳細は課題ごとに授業で告知する。完成作品の提出状況、時間内にやるべきことをこなし、積み重ねていくことを評価する。授業内での完成を目指し、未完成の作品は受け付けない。総合成績 6 0 点以上を単位修得とする。					
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	美術オリエンテーション			

		10週	③ 3 原色を用いたカラーチャート作成	3 原色を理解し、色の違いを表現できたか。
		11週	④ 3 原色を用いた着彩のためのスケッチ、デッサン、下描き	対象をよく観察し、効果的な構図をとることができたか。
		12週	⑤ 3 原色を用いた着彩 透明水彩	道具の取り扱い方、透明水彩の特性を理解できたか。
		13週	⑥ 3 原色を用いた着彩 透明水彩	道具の取り扱い方、透明水彩の特性を理解できたか。
		14週	⑦ 3 原色を用いた着彩 透明水彩 背	背景を効果的に仕上げることが出来たか。
		15週	⑧ 透明水彩 鑑賞 まとめ	自己と他の作品を鑑賞し、それぞれの良さを感じ取れたか。これまでの学習を振りかえる。
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
評価割合					
		制作（出席、態度含む）	作品（レポート含む）	合計	
総合評価割合		60	40	100	
評価割合		60	40	100	